



## 第144回拡大地方本部委員会

# 22春闘6,000円の賃上げを

## 組織拡大に全力を上げよう

地方本部は、2月19日に第144回拡大地方本部委員会を開催した。2022春闘における賃上げと労働条件改善、組織の強化・拡大、ローカル線廃止反対・駅の無人化反対、列車運転短縮などに全力を上げることなど、当面する闘争方針を決定した。

第144回地方本部委員

会は、三宅副委員長の司会ではじまり、地方委員10名中8名の出席を確認して委員会の成立を宣言した。議長には小川委員（岡山連合）が選出されました。

天野地本委員長あいさつでは、コロナ問題、安全・公共交通を守る課題、22春闘、組織拡大などが提起された。

来賓では、県労会議鷲尾副議長が、幹事会報告、政



議長 小川委員  
(岡山連合)

治問題、22春闘等あいさつ

されました。その後、西日

## 公共交通を守ろう

### 天野地本委員長あいさつ



### 安全・公共交通を守る課題

西日本会社は、コロナ禍による減収を理由にしながら、駅の無人化・ワンマン

列車の拡大、運転短縮・減便、組織の大改革を行い、人員削減を行おうとしている。そして、ローカル線廃止に向けた動きを活性化させようとしています。この動きに対して、中国5県の知事を中心に「鉄道ネットワークを守る緊急提言」国交大臣に提出した。県内においても減便などに対して県と13市町が「沿線住民の



本本部大北書記長が、22春闘交渉、安全問題、組織強化・拡大、政治闘争等を報告された。

議題に入り、当面の闘争

利便性を大きく損ない、看過できない」として、岡山支社に要望を行っている。

地本として、申入れや芸備線・駅の無人化反対宣伝行動を展開してきた。引き続き、奮闘していく決意です。

### 22春闘

6000円の賃上げ、期末手当6ヶ月、年度末手当1・75ヶ月を要求しています。会社は、利益剰余金3500億円余りため込んでいます。要求を遂行する材料は十分に確保されています。今春闘では、労働者の苦しい実態を改善させるために一層奮闘しなくてはな

方針（案）を青山書記長が提案した。

方針案の討論は、3名の委員・分会代表が発言した。討論では、22春闘の取り組み、期末手当問題、組織拡大、職場での様々な問題等活発な議論が行われ、西日本本部・地方本部応答が行われ、書記長集約、当面の闘争方針案が全体の拍手で承認された。委員会宣言が採択され、天野地本委員長の団結ガンバロウで終了した。

りません。

春闘の山場はこれからです。各支部における春闘一日行動、地域の仲間との行動もあります。そして、本社前行動が予定されています。私たちの要求に自信をもって、地域の仲間と共に22春闘をつくりあげていきましょう。

### 組織拡大

組織拡大は「動きなくして拡大なし」である。動かない限りその芽も出ない。まして拡大という花が咲くことはありません。結果を恐れず、拡大対象者に積極的に働きかけ、成果を出したい。